

1. 事業の概要

地球温暖化対策の推進及びエネルギーセキュリティの確保のため、再生可能エネルギーを一層強力に促進することが重要である。地熱発電は、風力発電や太陽光発電に比べて、安定した発電が可能であり、再生可能エネルギーの導入拡大に当たり、ベース電源となり得る地熱発電を推進していくことが極めて重要である。

しかしながら、我が国では、近年（1999年の八丈島以降）、地熱発電の新規立地がない状況にある。この理由としては、開発リスク・開発コストの大きさや、開発に当たっての地元関係者との調整の困難性が挙げられる。これらの問題を解決するため、本事業では開発リスクやコストを低減するための技術情報等の整備や、地熱発電開発の優良事例の形成を強力に推進する。

2. 事業計画（業務内容）

地熱発電の推進のため、技術情報等の整備や優良事例の形成に関する以下の3つの事業を実施する。

- ①地熱開発技術の最新情報の収集・整備業務：国内外の最新の技術動向の収集・整備・評価による技術的課題の克服。
- ②地熱発電の導入ポテンシャルの精密調査・分析：全国規模での、これまでの調査よりも精密なポテンシャル調査の実施。
- ③地熱開発の事業形成促進業務：地域における合意形成のための協議会の設置・運営、地熱発電開発の優良事例のノウハウの共有、事業計画策定のための調査・事業・ファイナンススキームの検討支援。

3. 施策の効果

本事業によって、地熱技術開発シーズの発掘、全国的な地熱開発のポテンシャルの精密化、地元の合意形成及び事業計画の策定が進み、地熱発電の飛躍的な導入拡大が期待される。

地熱開発加速化支援・基盤整備事業

平成25年度概算要求額 5.0億円(0億円)

- ◆再生可能エネルギーの導入拡大に当たり、地熱資源量が世界第3位である我が国では、ベース電源である地熱発電の推進が重要である。
- ◆地熱発電の推進のため、技術情報の整備や優良事例の形成に関する①地熱開発技術の最新情報の収集・整備業務、②地熱発電の導入ポテンシャルの精密調査・分析、③地熱開発の事業形成促進業務を実施する。

指摘されている地熱開発の主な課題

- 開発リスクが高い
- 開発コストが大きい
- 地元関係者との調整が困難

① 地熱開発技術の最新情報の収集・整備業務



技術の評価

最新の技術動向の収集

国内外の最新の技術動向の収集・整備・評価により技術的課題を克服する。

② 地熱発電の導入ポテンシャルの精密調査・分析



全国規模での詳細なポテンシャル調査を実施する。

③ 地熱開発の事業形成促進業務



協議会の設置・運営支援

事業・ファイナンススキームの検討

- ・協議会の設置・運営
- ・優良事例のノウハウの共有
- ・事業計画策定のための調査
- ・事業・ファイナンススキームの検討支援

地熱技術開発シーズの発掘、地熱開発の加速化、地元の合意形成・事業計画の策定
地熱発電の飛躍的な導入拡大